

- 問1 フランシスコ＝ザビエルによる日本での活動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- 種子島に漂着し、領主の種子島時堯に鉄砲を伝えた。
  - 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。
  - 大名らに勧め、天正遣欧少年使節をローマへ派遣させた。
  - 織田信長と会見し、京都での布教と南蛮寺の建設を許された。
- 問2 戦国時代を象徴する「下剋上」という言葉の意味や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- 身分の低い者が実力によって上の立場の者を倒し、勢力を拡大させていったこと。
  - 幕府が守護の権限を強め、地方の国人や農民を厳しく統制しようとしたこと。
  - 農民が団結して自治組織を作り、守護による年貢の取り立てを拒否したこと。
  - 朝廷が有力な武士に官位を与え、伝統的な身分秩序を維持しようとしたこと。
- 問3 16世紀のヨーロッパでは、既存の教会のあり方を批判する動きから宗教改革が起こり、新教とも呼ばれるプロテスタントが誕生しました。この宗教的な対立が、当時のポルトガルやスペインといったカトリック諸国の海外進出にどのような影響を与えたか、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
- プロテスタントの勢力拡大に直面したカトリック側が、失った勢力を回復するために海外での布教活動を強化した。
  - カトリックとプロテスタントの両勢力が協力体制を築き、イスラム教圏を回避するための新しい航路を開拓した。
  - プロテスタント諸国が海外進出を独占したため、カトリック諸国は布教よりも国内の防衛を優先させた。
  - 宗教改革によってキリスト教の権威が失墜したため、ヨーロッパ諸国は布教を目的とした海外進出を完全に停止した。
- 問4 豊臣秀吉による朝鮮出兵が始まった1592年（文禄の役）よりも前の時代に、世界で起こった歴史的出来事として正しいものを答えなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- フランスにおいて、市民が自由と平等を求めて蜂起し、フランス革命が起こった。
  - ポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸の喜望峰を経てインドに到達した。
  - アメリカ合衆国で、奴隷制の存廃をめぐる北部と南部の対立が深まり、南北戦争が始まった。
  - ドイツにおいて、当時として最も民主的といわれたワイマール憲法が制定された。
- 問5 室町時代後期から戦国時代にかけて、各地の実力者が幕府の法に頼らず、自らの領国内を統治するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- 武家諸法度
  - 御成敗式目
  - 分国法
  - 公事方御定書
- 問6 16世紀半ば、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが日本を訪れ、キリスト教を伝えた当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。
  - ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。
  - 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。
  - 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。
- 問7 16世紀のヨーロッパでは、ルターが免罪符（贖宥状）の販売を批判したことをきっかけに、キリスト教のあり方を問い直す大きな動きが起こりました。この動きの名称と、その影響を受けてカトリック側で結成され、のちに日本へキリスト教を伝えた組織の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- ルネサンス — 十字軍
  - 宗教改革 — イエズス会
  - 宗教改革 — 十字軍
  - ルネサンス — イエズス会
- 問8 武田信玄が定めた法の中に、「喧嘩をした者は、いかなる理由によるものであっても、双方ともに処罰する」という、いわゆる『喧嘩両成敗』の規定が見られる。戦国大名がこのような厳しい規定を設けた主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- 朝廷から与えられた守護としての権限を、隣国の領主に対しても示すことで領土を拡大するため。
  - 農村における生産性を向上させるために、武士が農業に専念できる環境を整えるため。
  - キリスト教の博愛の精神を取り入れることで、家臣同士の平穏な共同体をつくるため。
  - 家臣同士が私的な武力行使をすることを禁じ、大名の裁判権を確立して領国内の紛争を鎮めるため。
- 問9 16世紀に起きた「ルターによる宗教改革の開始」「イエズス会の設立」「フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来」という3つの出来事について、時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- ルターによる宗教改革の開始 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → イエズス会の設立
  - ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来
  - フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立
  - イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始
- 問10 1543年に種子島へ伝来した鉄砲が、戦国時代の日本において急速に普及し、合戦のあり方を大きく変えた主な要因として正しいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- ポルトガル人から輸入するのみで、国内の需要をすべてまかなうことができたため
  - 室町幕府が鉄砲の製造を独占し、全国の大名に無償で配布したため
  - キリスト教の布教を許可した大名に対してのみ、スペインが鉄砲を贈呈したため
  - 堺や国友などの都市の職人が高い技術を用いて、鉄砲の国内生産を可能にしたため
- 問11 戦国時代の越前国（現在の福井県）を支配した戦国大名の朝倉氏は、一乗谷を拠点として領国支配を行いました。このように、戦国大名が領国内を独自に統治するために制定した法を何といいますか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- 建武式目
  - 御成敗式目
  - 分国法
  - 武家諸法度
- 問12 戦国時代、九州の種子島に伝来した武器をきっかけとして始まった南蛮貿易について、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- 銀や銅を輸出する代わりに、欧米から蒸気機関などの近代技術が導入された。
  - 幕府の許可を得た朱印船により、東南アジア諸国との間で盛んに行われた。
  - キリスト教の布教を伴い、鉄砲や火薬などの軍事物資が輸入された。
  - キリスト教の布教は厳しく制限され、貿易の窓口は長崎の出島に限定された。